

冒険する児童文学

: 思い出の本棚より

子どもの頃に大好きだった忘れられない物語や
絵本の話をしていたら、誰かがこう言いました。

「みんな『冒険する話』が好きだったんだね！」

そしてこんな企画展がまとまりました。

みなさんの好きだった本はありますか？

みなさんが好きだったお話は何ですか？



カール・ラーション「イングランド旅行の前夜」(1909)

カロリーのせかいのたび

(世界の童話：オールカラー版；23)

教育童話研究会編；[ピエール・プロブスト原作]

小学館 1968年 (J90/1/23)

70年もの間フランスで愛され続けているシリーズ。作者のピエール・プロブストは絹織物の下絵を描く仕事や広告・出版などに携わったのち、娘のシモンヌをモデルにカロリーの物語を生み出した。正確な観察が基礎にある彼の絵は、登場人物や動物たちの動作や習性を克明に生き生きと描いている。絵本作家・中川李枝子は、プロブストの『プッフとノワロ』という絵本に出てくる歌声を参考に「ぐりとぐら」の名前をつけたという。

「わたしたちの国、フランスを出て、みんなでヨーロッパに旅をしましょう」

そう言ってカロリーとおともだちはヨーロッパを旅することになりました。目的も計画もなさそう。なんて身軽！旅先でもカロリーとおともだちは観光地を楽しむというより、いろいろ食べたり着替えたり、マイペースで町に溶け込んで遊んでいるように見えます。そしていたずらする人？はいたずらをしているし、失敗する人??は失敗しているし、世界中でいつも通り楽しんでいるみたい。なんて羨ましい！

70年経っても色あせないおしゃれな雰囲気のは、全体を眺めてカロリーたちと一緒に旅行している気分になるもよし、画面を細かく眺めて自分なら何がしたいか考えてみるもよし、「推しメン」の行動を追いかけてみるのもよし、何種類もの方法で楽しめます。

この本の世界旅行で物足りない人は、ぜひ『カロリーのつきりよこう』も読んでみてくださいね。 (C)

じごくのそうべえ

(童心社の絵本)

田島征彦作 童心社 1978年 (E/406, E/614)

上方落語「地獄八景亡者戯(じごくばっけいもうじゃのたわおれ)」という噺をもとに作られた絵本。軽業師のそうべえは綱から落ちて死んでしまい、医者、山伏、歯抜師と共に地獄に送られた。この4人で鬼の腹の中や熱湯の釜、針の山など地獄のあちこちで大暴れ。上方落語そのままの大阪弁のユーモラスな絵本。第1回絵本にっぽん賞受賞。元になった落語はあまり演じられなくなっていたものを桂米朝(1925-2015)が整え直したもので、現在では上方落語を代表するネタの一つとなっている。

地獄に行ってみたいと思ったことはありますか？

私は、実は、あります。少し前にちょっと流行った、地獄とそこで働く鬼を描いた漫画&アニメが好きだったんです。地獄って、怖いけどなんだか楽しそうで、覗いてみたいような気がしました。

あれ？この気持ち、子どもの頃にも感じたような…そうそう、この絵本を読んだときです。

表紙は真っ赤な地獄の灼熱の炎の絵。主人公は、出てきてすぐに死んでしまって、三途の川を渡ったり地獄に送られたり。どちらかという怖い絵本ではないかと思ってしまうのですが、実はそうべえと仲間たちの大笑い地獄冒険物語なのです。こんな面白いところなら、地獄もちょっと行ってみたい。一度くらい鬼に飲まれてもいいかもしれない。

でも、うまくこんな仲間たちとパーティが組めなかったら…そう考えると、やっぱり地獄行きは止めておこうかな。立派な生き方はできないまでも、悪いことはしない方がよさそうです。 (C)

砂の妖精

(福音館古典童話シリーズ；29)

イーディス・ネズビット 作, ハロルド・R・ミラー 画, 石井桃子 訳
福音館書店 1991年 (J93/111)

イーディス・ネズビット(1858-1924)はロンドンに6人きょうだいの末っ子として生まれた。1879年に結婚し、この頃から社会主義活動に熱心に取り組み、詩や大人向けの小説を執筆していく。初めて児童文学作品を書いたのは40歳のときで、生計を立てるための手段であったものの、その作品は次々とベストセラーとなった。ネズビットの児童文学作品には、魔法や妖精の存在するファンタジー作品と日常生活を描いたリアリズム作品とに分けられるが、どちらの場合もジェンダーに偏らない子どもたちの集団(多くは男2人と女2人のきょうだい)が日常の中で起こる騒動を大人不在の中で協力して解決していくパターンとなる。この、ファンタジーかつリアリズム、冒険小説かつ家庭小説という新たなジャンルは、後の『ナルニア国物語』や『メアリー・ポピンズ』をはじめとする多くの児童文学作品に影響を与えているとされる。

砂の妖精“サミアド”は1日にひとつ願いをかなえてくれますが、その効果は日没までしかありません。しかも、かたつむりの角のような目を持つ毛むくじゃらとおおよそ日本の子どもが想像する“妖精”とはかけ離れた外見なうえ、願いをかなえることが大嫌いなのです!

そんな風変わりな妖精にロンドンから田舎に移り住んだ4人きょうだいが出会い、お金持ちになりたい、美しくなりたい、空を飛びたいなど様々なお願いごとをしていきます。行き当たりばったりのお願い事はうまくはいかず、子どもたちは様々な騒動を引き起こしていきませんが…というのが本作の大筋です。私が本作を読んだのは小学校2年生頃でしたが、「自分ならもっとうまくやるのに」とか「私ならこんなお願いするのに」とか、ものがたりのきょうだいたちの一員になって楽しみました。(もちろん“サミアド”も探しましたよ!)また、本作は19世紀の中流家庭の様子が描かれており、自身のイギリス好きのきっかけとなった一冊でもあります。 (H)

とべバツタ

(創作大型えほん)

田島征三作 偕成社 1988年 (E/126, E/626)

トノサマバツタを主人公に、草原に生きるいのちを鮮やかに描き出した傑作。1980年代、日の出村で農耕生活と創作活動を並行していた田島征三ならではの着想で、土に根差した力強さを根幹に、恐れおののき葛藤しながらも、最後には大地を飛翔するバツタの姿を描き出した。泥絵具と水性ボンドを混ぜた独自の画材を用いたことで、これまでにない独特の表現を生み出している。第11回絵本にっぽん賞などを受賞。

子どもの頃に読んだ絵本の記憶といえは、楽しくて温かいものではないでしょうか。でも私の記憶にこびりつくようにして残っているのは、この『とべバツタ』。絵や色調がとにかく怖くて、苦手でした。とくに作中に登場するカマキリの、口がさけたような笑い顔!作者の名前も知らないまま、なんとなく避けるようにして過ごしていました。

そんな私が子どもと暮らすようになった今、こわごわとこの絵本を開いてみたところ、そこにある普遍性と新しさに目をひらかされました。未知へのおそれと、それを克服する冒険心。そして飛翔することの誇らしさ。『とべバツタ』には、子どもたちに伝えたい思いがたくさん詰まっていることに気づきます。ダイナミックな表現は、びくびくしながら生きている人間たちをおおらかに包み込み、背中を押してくれるようです。

そして、つねに新しい芸術を模索し、自然保護や平和を希求しつづけている田島征三の生き方そのものが、大いなる冒険であるようにも思えるのです。 (S)

長くつ下のピッピ：世界一つよい女の子

(リンドグレン作品集；1)

リンドグレン作；大塚勇三訳 岩波書店 1964年 (J94/12)

病気で寝込んだ娘にせがまれて、アストリッド・リンドグレンが即興で作ったお話から生まれた創作童話。自由奔放な「世界一つよい女の子」、ピッピが巻き起こす大騒ぎの日々を描いたこの作品には、作者自身の遊びに満ちあふれた幼年時代の経験が反映されている。1945年の刊行当時は賛否両論であったが、その後世界中の約70の言語で翻訳され、今なお子どもたちの絶大な支持を誇る名作。

テレビで放映された「長くつ下ピッピの冒険物語」を観たのは、小学2年生か3年生頃。臆病で甘えん坊な自分とは正反対、自由そのものといえるピッピの生きざまにあこがれて、この本を買ってもらいました。おまわりさんや学校の先生にも臆せず相対し、追いかけてこや軽妙な言葉の応酬を繰り返すピッピに、「いい子」でなくてもいい、ということを教えてもらったような気がしています。またコンゴやリスボンなど、ピッピが語る未知の地名には、想像力をかき立てられたものです。

作者・リンドグレンは、幸福な遊び暮らしの幼年時代を経て、19歳でシングルマザーとなり、第二次大戦も経験した人物。老境に至っては子どもへの体罰や虐待の禁止を訴え、世界を動かした波乱万丈な作家であったことは、大人になってから知りました。こうした物語の背景に思いを馳せると、ピッピや子どもたちの遊んで暮らす毎日が、いっそうかがやいて見えてきます。 (S)

わたしのワンピース

にしまさかやこ えとぶん こぐま社 1969年 (E/359, E/662)

1969年に出版され、50年以上経った今も愛され続けるロングセラー絵本。ワルツのような三つのリズムと大胆な三角形の構図が大きな特徴である。出版当時は日本の絵本全盛期の幕開けで、ストーリーがありそれに絵をつけるのが絵本の主流であったため、この作品は一部の編集者から理解を得られなかったが、当時のこぐま社社長佐藤英和は自分の直感を信じ絵本化した。

「こんなワンピースを着たい」

そんなことを思いながら読んでいた本です。子どもの頃に読んでうさぎさんと一緒に冒険をしている気分になりました。様々な景色がでてきて次はどんなところに行くのかな、どんなものがでてくるかなとわくわくしながら読んでいました。

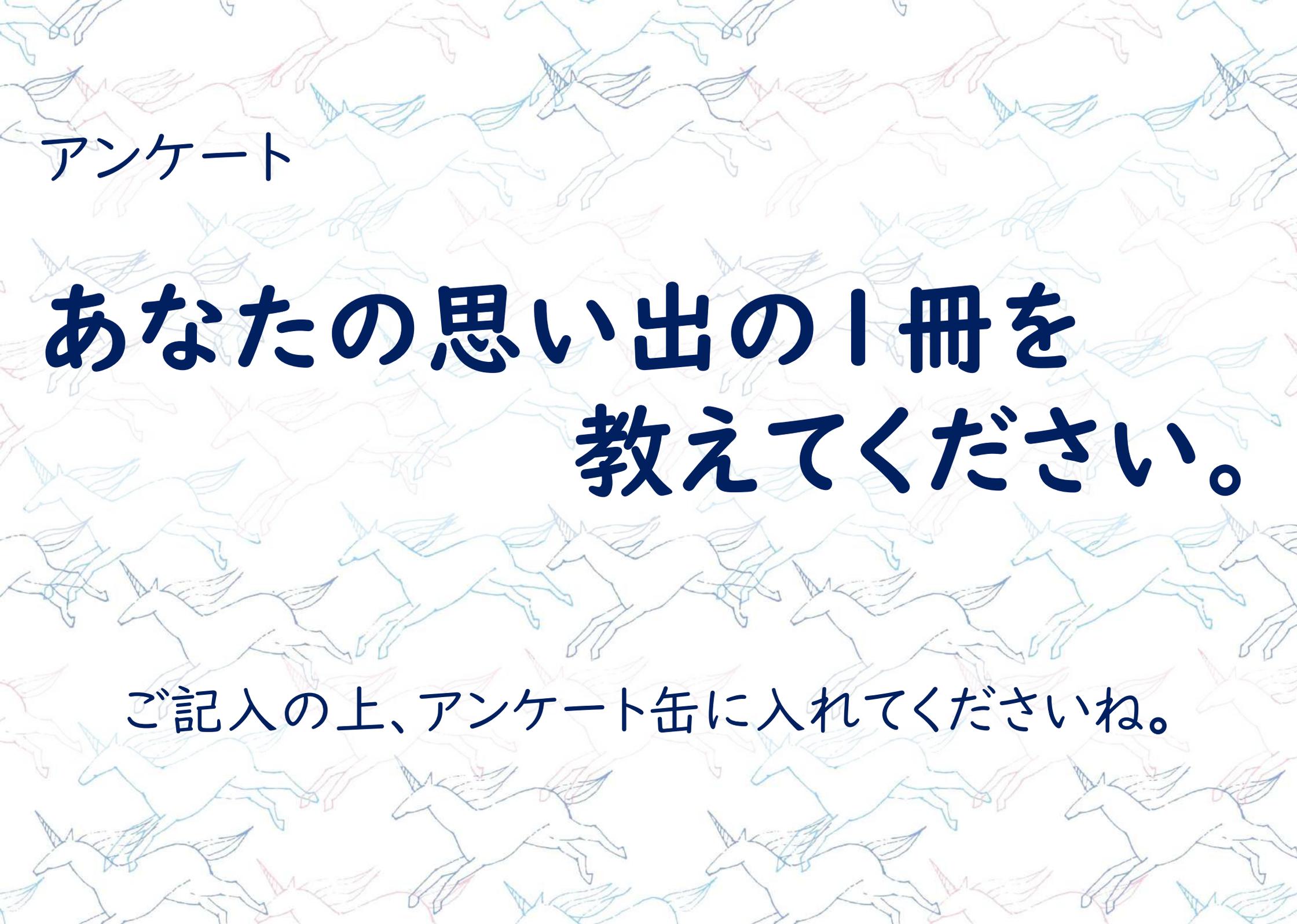
私が特に好きな場面はくさのみのワンピースになって鳥が食べにくるところです。くさのみの匂いが本当にしそうな景色に、ワンピースの中のくさのみを鳥が食べにくるところで「ワンピースの中のくさのみを食べられるのか!」と驚いた記憶があります。

お話の後半になると見開き1ページにうさぎさんが大きく描かれていて迫力があり、ワンピースと景色が一体化している絵がきれいです。また、「ララン、ロロン」とうさぎさんと一緒にロずさみたくなるような言葉があり、子どもと一緒に楽しめる本です。

読んだ後には実際にワンピースを作りたくなるような、外に出てお散歩をしたくなるような魅力的な絵本です。

<参考文献>

- ・松居直のすすめる50の絵本：大人のための絵本入門. 松居直著. 教文館, 2008.11 (019/105)
- ・絵本リスト：子どもの育ちに関わる全ての人に読んでほしい絵本. 名古屋女子大学文学部, 2021 (019/175)
- ・子どもの心を動かす読み聞かせの本とは：解説&ブックガイド400. 岡崎一実, 野口武悟共編. 日外アソシエーツ, 2019.1 (019/176)
- ・絵を読み解く絵本入門. 藤本朝巳, 生田美秋編著. ミネルヴァ書房, 2018.5 (019/186)
- ・絵本の世界：作品案内と入門講座(講座絵本・児童文学の世界). 森久保仙太郎, 偕成社編集部編. 偕成社, 1988.6 (019/31/1)
- ・児童文学の世界：作品案内と入門講座(講座絵本・児童文学の世界). 西本鶏介, 偕成社編集部編. 偕成社, 1988.6 (019/31/2)
- ・学校図書館発絵本ガイドブック. 三宅興子, 浅野法子, 鈴木穂波著. 翰林書房, 2004.9 (019/51)
- ・子どもの本ハンドブック. 野上暁, ひこ・田中編. 三省堂, 2009.6 (019/72)
- ・絵本の風：子どもとおとなの絵本100冊の魅力. 赤澤洋子著. 鶴岡タイムス社, 2010.1 (019/84)
- ・子どもが教えてくれましたほんとうの本のおもしろさ：保育園で読んだ154さつ. 安井素子著. 偕成社, 2009.5 (019/86)
- ・落語の愉しみ(落語の世界；1). 延広真治, 山本進, 川添裕編集. 岩波書店, 2003.6 (779/10/1)
- ・オックスフォード世界児童文学百科. ハンフリー・カーペンター, マリ・プリチャード著. 原書房, 1999.2 (909/314)
- ・英米児童文学ガイド：作品と理論. 日本イギリス児童文学学会編. 研究社出版, 2001.4 (909/323)
- ・世界の絵本・児童文学図鑑. ジュリア・エクルスシェア編. 柊風舎, 2011.1 (909/447)
- ・ファンタジーの生まれるまで(作品を読んで考えるイギリス児童文学講座；1). 中野節子, 水井雅子, 吉井紀子著. JULA出版局, 2009.4 (909/456)
- ・物語のものがたり. 梨木香歩著. 岩波書店, 2021.3 (909/472)
- ・児童文学の中の家. 深井せつ子著. エクスナレッジ, 2021.4 (909/473)
- ・カロリーヌとおともだち(世界の童話：オールカラー版；12). 教育童話研究会編. 小学館, c1967 (J90/1/12)
- ・カロリーヌのつきりよこう(世界の童話：オールカラー版；19). 教育童話研究会編；[ピエール・プロブスト原作]. 小学館, 1967 (J90/1/19)
- ・長くつ下のピッピ. アストリッド・リンドグレン作；イングリッド・ヴァン・ニイマン絵；菱木晃子訳. 岩波書店, 2018.8 (J94/36/1)
- ・田島征三 アートのぼうけん展. 松本育子編集. NHKエンタープライズ中部, 2022 (所蔵なし)
- ・月刊MOE 40(9). 白泉社, 2018.9 (所蔵なし)
- ・ふんわりカステラから物語 絵本誕生、50年記念「ぐりとぐら展」【名古屋】朝日新聞. 2015.2.16 朝刊, 名特集G (朝日新聞クロスサーチ)
- ・砂の妖精__こども文庫. 朝日新聞. 1979.6.9, 朝刊, p.14 (朝日新聞クロスサーチ)
- ・長くつ下のピッピ__こども文庫. 朝日新聞. 1979.10.6, 朝刊, p.14 (朝日新聞クロスサーチ)



アンケート

**あなたの思い出の1冊を
教えてください。**

ご記入の上、アンケート缶に入れてくださいね。

あなたの思い出の1冊を教えてください。

あなたの思い出の1冊を教えてください。

思い出ポイントは？

思い出ポイントは？

学科・学年

食栄・環境・見教・幼保・健栄・

看護・理学・作業・保育・生活

年生

教職員

お名前(ニックネームやイニシャルOK)

学科・学年

食栄・環境・見教・幼保・健栄・

看護・理学・作業・保育・生活

年生

教職員

お名前(ニックネームやイニシャルOK)